

UCCE および PCCE ソリューション コンポーネントにおけるバックアップ手順

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バックアップ手順](#)

[UCCE](#)

[Cisco Unified Customer Voice Portal \(CVP \)](#)

[Cisco Unified Communications Manager \(CUCM \)](#)

[Cisco Finesse](#)

[Cisco Unified Intelligence Center \(CUIC \)](#)

[Packaged Contact Center Enterprise \(PCCE \)](#)

[Remote Expert Mobile \(REM \)](#)

[Enterprise Chat and Email \(ECE \)](#)

[Cisco SocialMiner](#)

[Cisco MediaSense](#)

[Virtual Machine \(VM \) スナップショット](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 環境でコンポーネントのバックアップにおける最良の方法および手順を記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- UCCE
- Windows サーバ
- Microsoft サーバ構造化照会言語 (SQL) サーバ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- UCCE バージョン 11.x
- Microsoft Windows サーバ 2012

- Microsoft SQL サーバ 2014

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

バックアップ手順

UCCE

コア UCCE サーバはルータ、ロガー、周辺機器ゲートウェイ（PG）管理ワークステーション（AW）および Historical Data Servers（HDS）で構成されています。ソリューション（すなわち設定、履歴データ、スクリプト）の必須の情報はロガー、AW および HDS のデータベースにあります。データベースのためのバックアップの手順は管理ガイドに説明があります：

[UCCE 管理 ガイド](#)

注: ICMdba ツールはコンフィギュレーションデータだけをエクスポートするためにオプションで使用することができます（履歴データはエクスポートすることができません）。手順は[ここに](#)あります。

Cisco Unified Customer Voice Portal（CVP）

バックアップする必要がある CVP コンポーネントは手順とレポート サーバー データベースおよびオペレーション コンソール接続を行います（OAMP）です：

- [レポート データベース バックアップ手順](#)
- [エクスポート オペレーション コンソール設定](#)

Cisco Unified Communications Manager（CUCM）

CUCM は Informix データベースの規則的なバックアップを奪取するためにディザスター リカバリ システム（DR）を使用します。

- [システムをバックアップして下さい](#)
- [システムを復元する](#)

Cisco Finesse

Cisco Finesse に同じ DR 手順次 CUCM があります：

[Cisco Finesse DR](#)

注: DR ページがはたらかせないそれ、URL でポートを追加して下さい：
<https://<FQDN>:8443/drf>.

Cisco Unified Intelligence Center（CUIC）

CUIC のデータベースはサーバ (すなわちレポート、データ ソース等) のすべての情報が含まれ、手順は CUCM DR に類似したです:

[CUIC DR](#)

Packaged Contact Center Enterprise (PCCE)

各 PCCE コンポーネントにおけるバックアップ手順は前述の個々のコンポーネントと同じです。

Remote Expert Mobile (REM)

REM コンポーネント サポート Virtual Machine (VM) バックアップだけ。章 **Additional 情報 > REM のためのインストラクション コンフィギュレーション ガイドのサポートされる機能へのナビゲート**詳細については:

[REM インストラクション コンフィギュレーション ガイド](#)

Enterprise Chat and Email (ECE)

Cisco_Home フォルダは ECE サーバで定期的にバックアップする必要があります。さらに、データベースは ECE データベースサーバでバックアップする必要があります。手順に関する詳細については、章 **定期整備へのナビゲート**は **配備およびメンテナンス ガイド**で任せます。

[ECE 配備およびメンテナンス ガイド](#)

Cisco SocialMiner

SocialMiner サーバはデータベースのバックアップのために DR を使用します。

[社会的な抗夫システム バックアップおよび復元](#)

注: 動作するために DR はバックアップします、SocialMiner は **ランタイム サービスを停止**する必要があり、これは作成します 3-4 分 ([CSCvf18707](#)) の停止を

Cisco MediaSense

MediaSense の記録物はアーカイブすることができます。MediaSense サーバからのデータの他はバックアップすることができません。唯一のサポートされた (条件の下で) 手順は VM バックアップです。これにおける手順は MediaSense 設計の指針にあります。

[MediaSense 設計の指針](#)

Virtual Machine (VM) スナップショット

スナップショット用にサポートされる VM は CVP、ロガー、ルータ、PG、AW および HDS サーバだけです。上で説明されているスナップショットとしてコンポーネントの他は奪取されてはなりません。サポートされた VM snapshots のための条件は **仮想化 ソフトウェア要件 資料**にあります:

関連情報

- [UCCE ソリューション設計ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)